DVD±R/RW/RAM

セットアップガイド

DVR-UEN18GLV

B-MANU200753-01

I·O DATA

この度は、「DVR-UEN18GLV」（以下、本製品と呼びます。）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に［本書］をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願い致します。

本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく製品です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

動作環境の確認

対応機種※1	USB 2.0※2(USB 1.1※3)ポートまたはIEEE 1394※2ポートを搭載したDOS/Vマシン (弊社製USBインターフェイスまたはIEEE 1394インターフェイスを搭載したDOS/Vマシンを含む)
対応OS※4	Windows Vista™※5/Windows XP Service Pack 2/Windows 2000 Professional Service Pack 4以降
搭載CPU※4	●データ保存時：Pentium III 450MHz以上　●ビデオ編集・DVD鑑賞時：Pentium 4 1.6GHz以上
メモリ	512Mバイト以上
ハードディスク※4	空き容量 10Gバイト以上（20Gバイト以上推奨）
ディスプレイ	1024×768ピクセル以上の解像度
インターネット※6	CPRM技術で録画されたDVDメディアをWinDVDを使って再生、またはDVD MovieWriterで編集する場合には、インターネット接続環境が必要です。
対応メディア※7	●DVD：DVD+R※8、※9、DVD+RW、DVD-R※9、※10、DVD-RW、DVD-RAM※11、DVD-ROM ●C D：CD-R、CD-RW、CD-ROM

推奨メディア※12	メディア	メディアの速度	メーカー名
	1層DVD+R	16倍速（最大18倍速書き込み※15、※16）	太陽誘電
		16倍速	日立マクセル、三菱化学
		8倍速（最大16倍速書き込み※15）	太陽誘電
		8倍速	ソニー、日立マクセル
	2層DVD+R	8倍速	三菱化学
		2.4倍速（最大4倍速書き込み※15）	日立マクセル、三菱化学
	DVD+RW	8倍速	日立マクセル、リコー
		4倍速	三菱化学、リコー
	1層DVD-R※13	16倍速（最大18倍速書き込み※15、※16）	太陽誘電、三菱化学
		16倍速 Labelflash™対応	富士フイルム、弊社製 DVD-R4.7LF
		16倍速	日立マクセル
		8倍速（最大16倍速書き込み※15）	日立マクセル
		8倍速	ソニー、太陽誘電、三菱化学
	2層DVD-R	8倍速	三菱化学
		4倍速	三菱化学
	DVD-RW※13	6倍速	三菱化学
		4倍速	TDK、ビクター、三菱化学
	DVD-RAM※14	12倍速	日立マクセル
		5倍速	Panasonic、日立マクセル
		3倍速	Panasonic、日立マクセル
	CD-R	三菱化学	
	CD-RW	三菱化学	

※1 より詳しい対応機種情報を対応製品検索エンジン「PIO」にてご案内しております。
http://www.iodata.jp/pio/

※2 ●USB 2.0 環境は、パソコン本体に標準で搭載されている USB 2.0 環境で、ご利用の OS に対応したドライバがインストールされている必要があります。（Microsoft 社製 USB 2.0 ドライバ推奨）増設 USB 2.0 インターフェイスをご利用の場合は弊社製 USB 2.0 インターフェイスボードでのみ確認をおこなっております。
●増設された USB 2.0 および IEEE 1394 インターフェイスに接続した場合、環境によっては本製品の最大性能を発揮できない場合があります。

※3 ●USB 1.1 ポートに装備した場合には、USB 1.1 機器として動作します。
●USB 1.1 環境で書き込みまたは読み込みをおこなう場合、DVD では最大 0.9 倍速、CD では最大 8 倍速となります。
●USB 1.1 環境で DVD ビデオを再生する場合、十分な転送速度が得られないためコマ落ちまたは音飛びが発生します。（頻度はビデオタイトルによって異なります。）

※4 DVD メディアへ 12 倍速以上で書き込みをおこなう場合の推奨環境は以下の通りです。
●搭載 CPU：Pentium 4 2.8GHz 以上
●ハードディスク：Ultra ATA/66 以上で接続されたハードディスク（DMA 転送モード）
●OS：Windows XP ServicePack 2 以降
●チップセット：i915 以降

※5 32bit のみ対応。

※6 Windows Vista™環境で CPRM 技術で録画された DVD メディアを再生する場合は、以下を満たしている必要があります。
●グラフィックアクセラレータボード
・PCI-Express 接続
・COPP をサポートしていること
・最新のドライバがインストールされていること
・HDCP に対応した DVI もしくは HDMI コネクターを搭載
●ディスプレイ
・HDCP に対応した DVI もしくは HDMI コネクターを搭載

※7 ●書き込みは 12cm メディアのみ対応しております。
●DVD・CD への書き込みを行う際には、各々の書き込み速度に対応したメディアが必要です。

※8 2 層 DVD+R メディアにマルチセッションにて書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。

※9 2 層 DVD±R メディアに「B's CLiP」にて書き込みを行った場合、他のドライブでは読み込むことはできません。

※10 2 層 DVD-R メディアへの書き込みは、ディスクアットワンスのみ対応しております。

※11 カートリッジから取り出し不可能なメディア（TYPE I）および 2.6G バイト / 面のメディアには対応しておりません。

※12 ●推奨メディア以外を使用した場合は、メディアの品質により正常に書き込みできないことがあります。
●最新の情報は、弊社ホームページにてご確認ください。

※13「B's Recorder GOLD 9 BASIC」にてコピー禁止機能付き DVD を作成する場合には、推奨メディア欄にてご案内しておりますメーカー製の CPRM 対応 DVD-R/RW for VIDEO メディアをご利用ください。

※14 2 倍速以下のメディアは読み込みのみ対応しております。

※15 弊社では記載の倍速メディアにてメディアの倍速を超える高速の書き込みを確認しておりますが、全ての環境についてメディアの倍速を超える高速の書き込みを保証するものではありません。また、メディアメーカーへの本製品でのメディアの倍速を超える高速の書き込みに関するお問い合わせはご遠慮ください。

※16 IEEE 1394 接続の場合、1 層 DVD±R メディアへの書き込みは最大 16 倍速になります。

ご注意
●DVD+R/+RW/-R/-RWメディアで作成したDVD-ROM・DVDビデオは、既存のDVD-ROMドライブ、DVDプレーヤー、対応のゲーム機で再生可能ですが、一部再生できない機種があります。
●上記の条件を満たした場合でも、環境やメディアの品質によっては、ドライブの最大性能を発揮できない場合があります。

製品仕様

ドライブ名	AD-7173A(OEM供給元：ソニーNECオプティアーク株式会社)
インターフェイス仕様	USB 2.0（USB 1.1）、IEEE 1394
設置条件	設置方向：水平、垂直（垂直は12cmメディアのみ対応）
ディスクローディング方式	トレイタイプオートローディング
データバッファサイズ	2Mバイト
書き込みエラー回避機能	搭載

最大書き込み/読み込み速度

DVD	1層+R	2層+R	+RW	1層−R	2層−R	−RW	RAM	ROM
書き込み	×18	×8	×8	×18	×8	×6	×12	-
読み込み	×16	×12	×13	×16	×12	×13	×12	×16(1層) ×12(2層)

C D	−R	−RW	ROM
書き込み	×48	×32	-
読み込み	×48	×40	×48

Labelflash™のレーベル面描画速度
※書き込み時間は1枚あたりの目安です。デザインや設定によって描画時間は変動します。

描画時間	回転数	解像度
約6分	7,875rpm	182dpi
約11分	4,500rpm	303dpi
約21分	2,250rpm	605dpi

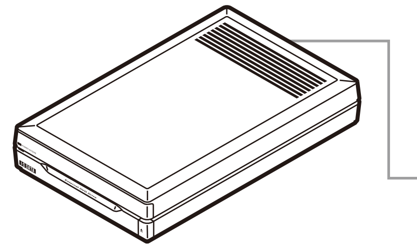
適合フォーマット	●DVD：DVD-ROM、DVD-Video ●C D：CD-ROM Mode1、CD-ROM Mode2 (form1、form2)、CD-DA、CD-Extra、CD-I、Video CD、CD-TEXT、PhotoCD
書き込み方法	●DVD+R/+RW：Disc at Once、Random Write、Sequential write ●DVD-R/-RW：Disc at Once、Incremental、Multi-Border、Restricted Overwrite※ ●DVD-RAM：Random Write、Sequential Write ●CD-R/RW：Disc at Once、Session at Once、Track at Once、Packet Writing ※DVD-RWのみ
電源仕様	AC 100V±10%、50/60Hz
定格電流	5V：1.5A、12V：1.0A
動作温度	+5〜+35℃（パソコンの動作する温度範囲であること）
動作湿度	20%〜80%（結露なきこと）
外形寸法	170(W)×270(D)×50(H)mm (突起部分を除く)
質量	約1.4kg (ACアダプターを除く)

1.準備しよう

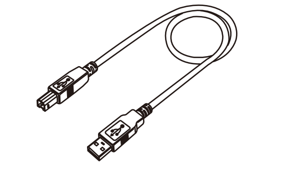
内容物を確認します

□ にチェックをつけながら、ご確認ください。万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターにご連絡ください。

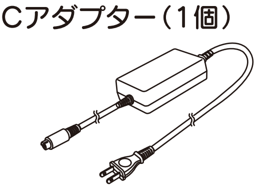
□ ドライブ(1台)



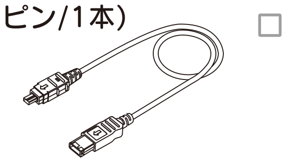
□ USBケーブル(1本)



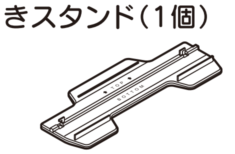
□ ACアダプター(1個)



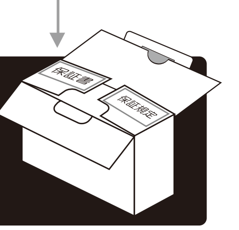
□ IEEE 1394ケーブル(6-4ピン/1本)



□ 縦置きスタンド(1個)



☑ DVR±R/RW/RAMセットアップガイド(本書/1枚)
□ Labelflash™簡単ガイド(1枚)
□ DVD Proツールズコレクション(CD-ROM/1枚)
□ UleadソフトウェアCD(CD-ROM/1枚)
□ Ulead DVD MovieWriter CPRM対応キーダウンロードのご案内(1枚)
□ ゴム足(8個)［縦置用：4個/横置用：4個］
□ ハードウェア保証書(1枚)

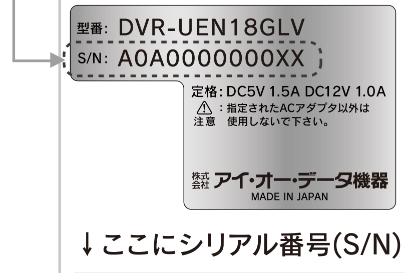


ハードウェア保証書について

「ハードウェア保証書」と「保証規定」は本製品の箱に印刷されております。
本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、大切に保管してください。

シリアル番号(S/N)をメモします

▼ シールサンプル


型番：DVR-UEN18GLV
S/N：A0A0000000XX
定格：DC5V 1.5A DC12V 1.0A
注意：指定されたACアダプタ以外は使用しないで下さい。
株式会社 アイ・オー・データ機器
MADE IN JAPAN

シリアル番号(S/N)は本製品背面に貼られているシールに印字してある12桁の英数字です。(例：A0A0000000XX)
シリアル番号(S/N)は最新ファームウェアのダウンロードなどの際に必要な場合があります。

↓ここにシリアル番号(S/N)をメモしてください。

最新ファームウェアのダウンロード

http://www.iodata.jp/lib/

ユーザー登録

http://www.iodata.jp/regist/

Labelflash™専用メディアについて

レーベルフラッシュ書き込みを行う場合にはLabelflash™専用メディアが必要です。ご入用の際は是非、弊社インターネット通販サイト「ioPLAZA」をご利用ください。

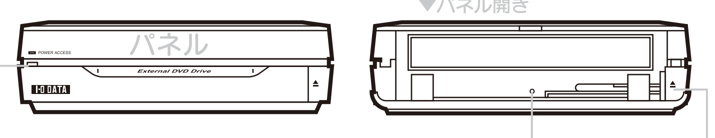
[ioPLAZA] http://www.ioplaza.jp/
⇒商品カテゴリ⇒ストレージ⇒オプション・ケーブルよりお求めいただけます。

製品名	富士フイルム社製Labelflash™対応データ用DVD-R （4.7GB 1〜16倍速記録対応）
型番	DVD-R4.7LF

各部の名称

ドライブ前面

▼パネル開き

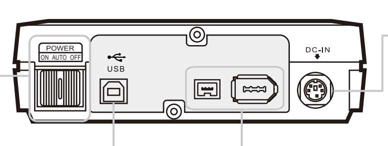


アクセス/Powerランプ
電源ON時：緑色に点灯します。
書き込み/読み込み時：黄色に点滅します。

イジェクトボタン
押すとトレイが開きます。

緊急イジェクトホール
メディアが取り出せなくなった場合に使用します。

ドライブ背面



電源コネクター
添付のACアダプターを接続します。

USBコネクター
添付のUSBケーブルを接続します。

IEEE 1394コネクター
添付のIEEE 1394ケーブルを接続します。(左：4ピン、右：6ピン)

電源スイッチ
ON ⇦ AUTO ⇨ OFF
電源を上のように切り替えます。
※[AUTO]（電源連動機能）については右記[電源連動機能とは？]をご覧ください。

注意
●アクセスランプの点滅中は、パソコンをリセットしたり、電源を切ったりしないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。
●イジェクトボタンを押した際は、すぐ指を離してください。パネルやトレイに指を挟む危険があります。

2.接続しよう

本製品をパソコンに接続します

※セットアップを行う際には、Windowsを管理者権限でログオンしてください。

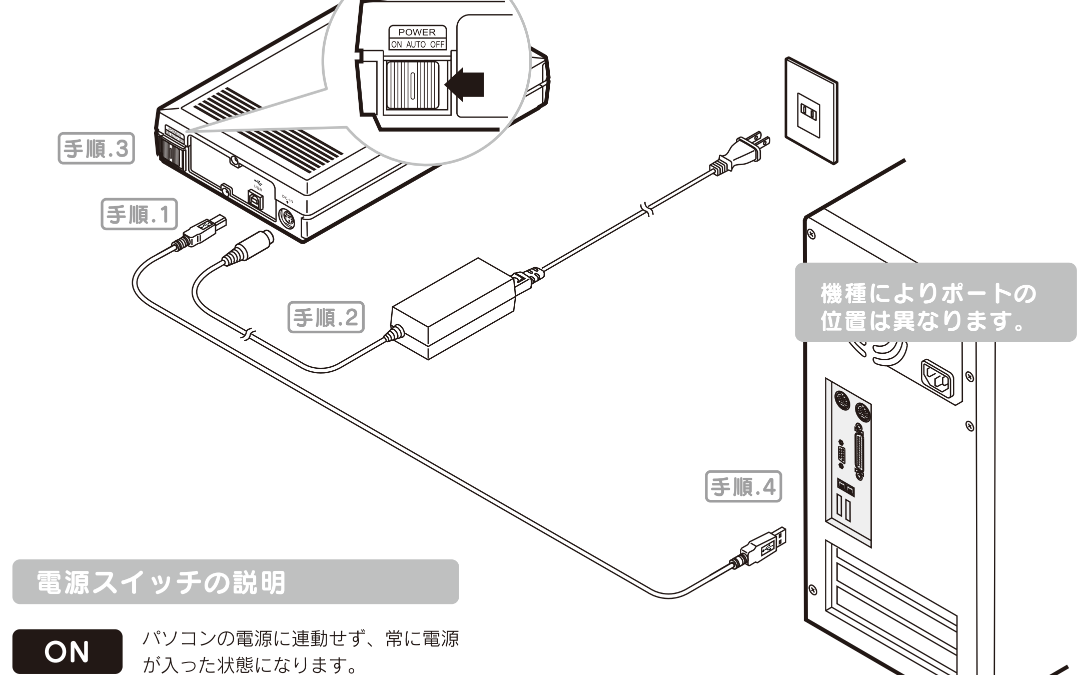
手順.1
本製品に添付のUSBケーブルまたはIEEE 1394ケーブルをつなぎます。

手順.2
添付のACアダプターを本製品と電源コンセントにつなぎます。

手順.3
電源を入れます。

手順.4
パソコンのUSBポートにつなぎます。

本製品はOSに標準で搭載されているドライバを使用するため、ドライバをインストールする必要はありません。


接続例：USBポート接続の場合
POWER
ON AUTO OFF
手順.3
手順.1
手順.2
手順.4
機種によりポートの位置は異なります。

電源スイッチの説明

ON	パソコンの電源に連動せず、常に電源が入った状態になります。
AUTO	パソコンの電源に連動して本製品の電源がON/OFFされます。（電源連動機能）
OFF	パソコンの電源に連動せず、常に電源が切れた状態になります。

注意
●USBとIEEE 1394へは同時に接続しないでください。故障の原因となります。
●本製品をUSB 2.0で動作させるには、USB 2.0インターフェイスに接続する必要があります。

電源連動機能とは？

パソコンの電源のON/OFFに連動して、ドライブの電源がON/OFFされる機能です。ただし、添付のケーブルを使用し、ドライブの電源が[AUTO]の状態の時のみ有効です。
この機能により、パソコンの電源を切ると同時に、ドライブの電源も切れます。
また、次回パソコンの電源を入れると同時に、ドライブの電源も入るので手間が省けます。
※複数のIEEE 1394機器をデイジーチェーン接続でお使いの場合など、環境によっては本製品の電源連動機能が働かない場合があります。

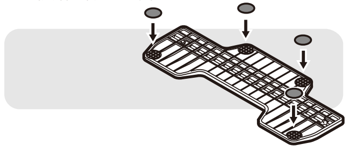
起動時
パソコンをONにすればドライブもON！

終了時
ドライブの電源切り忘れなし！

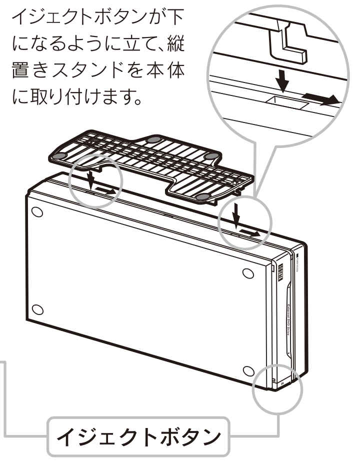
ご注意
電源連動機能により、本製品の電源スイッチをAUTOにした時点では本製品のPowerランプは点灯しません。起動済みのパソコンに接続するとPowerランプが点灯します。電源連動機能を切るには、電源スイッチをONまたはOFFにします。

縦置きにする場合

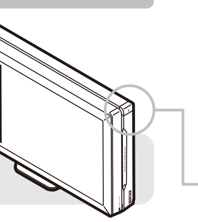
手順.1
添付の縦置きスタンドの裏に、添付のゴム足を4枚貼り付けます。



手順.2
イジェクトボタンが下になるように立て、縦置きスタンドを本体に取り付けます。

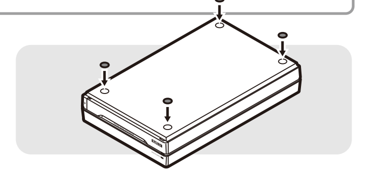


手順.3
イジェクトボタンが上になるように縦置きにします。



横置きにする場合

ドライブの底に添付のゴム足を4枚貼り付けます。

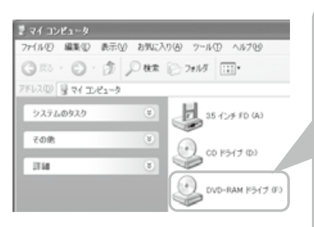


注意
●本製品にメディアを入れたまま移動したり傾けたりしないでください。本製品やメディアを破損します。
●縦置き時、8cmメディアは使用できません。

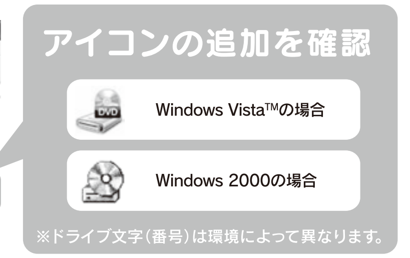
3.確認しよう

正常に使用できるかを確認します

Windowsを起動して［マイコンピュータ］(または[コンピュータ])を開き、本製品のドライブアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されていれば、本製品をご使用いただけます。



↑(画面例：Windows XP)



※ドライブ文字(番号)は環境によって異なります。

こんなときには

アイコンが追加されていない場合

●[表示]メニューの[最新の情報に更新]をクリックしてみてください。
●ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。(パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください。)また、別のUSBポートに挿し直してみてください。
●添付のCD-ROMに収録されているQ&Aの「Q01 本製品をパソコンに接続しても認識しない(本製品のアイコンがマイコンピュータ(またはコンピュータ)に表示されない)」をご参照ください。

「新しいハードウェア」画面が表示されたまま消えない場合

[キャンセル]ボタンをクリックし、ケーブルをパソコンから取り外します。パソコンを再起動して、取り外したケーブルをパソコンにつなぎます。

その他ご注意

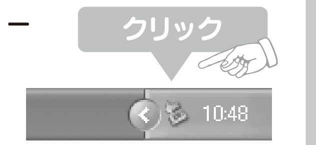
●ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクターを持って抜いてください。
●一部のウイルス対策ソフトがインストールされている場合には、動作が不安定になる場合があります。
●本製品は、パソコンの省電力機能には対応しておりません。
●本製品を長時間使用した場合は、一旦メディアを取り出し数分おいてから書き込みを行ってください。

4.その他

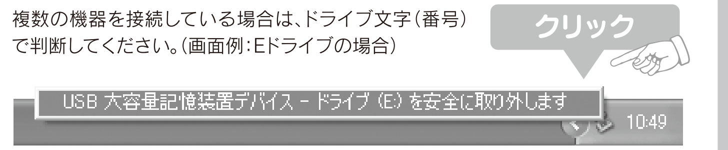
取り外し手順について

本製品をパソコン起動中に取り外す場合の手順を説明します。(画面例：USB接続でWindows XPの場合)

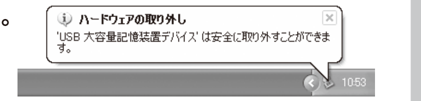
手順.1
タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。
表示されるアイコンはOSによって異なります。



手順.2
本製品の表示をクリックします。
複数の機器を接続している場合は、ドライブ文字(番号)で判断してください。(画面例：Eドライブの場合)


クリック
USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を安全に取り外します
10:49

手順.3
メッセージを確認します。
(Windows XP以外の場合は[OK]をクリックします。)

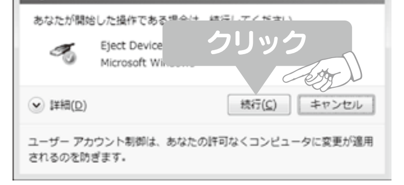

ハードウェアの取り外し
'USB 大容量記憶装置デバイス' は安全に取り外すことができます。
10:53

手順.4
パソコンのポートから、本製品のケーブルを取り外し、本製品の電源を切ります。
AUTOの場合、自動的に電源が切れます。(ただし、Windows Vista™ではパソコンからケーブルを抜くまで、電源は切れません。)

こんなときには

Windows Vista™でユーザーアカウント制御の画面が表示された場合

[続行]ボタンをクリックしてください。


ユーザー アカウント制御
続行するにはあなたの許可が必要です
あなたが開始した操作である場合は、続行してください。
Eject Device
Microsoft Windows
クリック
詳細(D)
続行(C)
キャンセル
ユーザー アカウント制御は、あなたの許可なくコンピュータに変更が適用されるのを防ぎます。

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された場合

使用しているソフトウェアをすべて終了してから、本手順をおこなってください。
※それでも同じメッセージが表示された場合、パソコンの電源を切ってから本製品を取り外してください。

裏面へお進みください。➜

てっトリ早く DVDを使ってみよう

用途に応じて添付ソフトウェアを選択してください。

DVDビデオを作りたい
DVD MovieWriter 5 SE for I-O DATA　Ulead

DVDオーサリングソフト

既存の映像ファイルや DV カメラの映像を使って、DVD ビデオを作成する際に使用します。

UleadソフトウェアCDに収録

DVDを再生したい
▼Windows Vista™の場合
InterVideo WinDVD
▼Windows XP/2000の場合
InterVideo WinDVD 5　InterVideo

DVD再生ソフト

市販の DVD や作成した DVD ビデオ、または家庭用 DVD レコーダーで録画された DVD±R/RW、DVD-RAM を再生することができます。

DVD Proツールズコレクションに収録

データDVDを作りたい
B's Recorder GOLD9 BASIC　B.H.A
※1、※2

データライティングソフト

通常のデータ CD/DVD 作成に加えて、暗号化 CD/DVD を作成することもできます。

DVD Proツールズコレクションに収録

ドラッグ&ドロップでデータを書き込みたい
B's CLiP　B.H.A
※1

パケットライトソフト

インストールすると、DVD-RAM/DVD±RW/CD-RW メディアにドラッグ＆ドロップでデータを書き込むことができます。

DVD Proツールズコレクションに収録

Labelflash™機能を使いたい
labelFOLiO　B.H.A
※3

Labelflash™ 書き込みソフト

Labelflash™機能を用いて、対応メディアのレーベル面に描画を行うためのソフトです。
レーベルのデザインも同時に行えます。

DVD Proツールズコレクションに収録

※1 他のデータライティングソフトやパケットライトソフトがインストールされている場合には、本ソフトをインストールする前にそれらのソフトをアンインストールしてください。
※2 DirectX 9がインストールされていない環境では、B's Recorder GOLD9 BASICのインストール時に DirectX 9が自動的にインストールされます。
※3 先にB' s Recorder GOLD9 BASICがインストールされている必要があります。

Labelflash™機能の使い方については、別紙【Labelflash™簡単ガイド】をご覧ください。

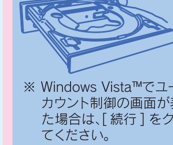
添付の「DVD Pro ツールズコレクション」CD-ROMにはその他に以下のソフトウェアも収録されています。

EasySaver LE　I-O DATA	**データバックアップソフト**：あらかじめ設定しておくだけで自動的にデータのバックアップを取ることができます。 （本ソフトは製品版EasySaverの機能限定版です。）　※ Windows Vista™非対応
QuickDrive LE　I-O DATA	**ドライブコントロールユーティリティ**：パソコンシャットダウン時にメディアの取り出し忘れを防ぐユーティリティソフトです。 （本ソフトは製品版QuickDriveの機能限定版です。）
画面で見るマニュアル　I-O DATA	本製品の「基本操作」や「DVDビデオの作り方」、「困ったときには」などについて説明しています。

用途に応じて必要なソフトウェアをインストールしてください。

※Windowsを管理者（Administrator）権限でログオンしてください。

1 添付のCD-ROMを本製品に挿入します。



※ Windows Vista™でユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行] をクリックしてください。

「DVD Pro ツールズコレクション」の場合は次へ

2 メニューが表示されたら[インストールをする]をクリックします。 → 3 インストールしたいソフトをクリックします。 → 4 表示に従ってインストールを進めます。

「Uleadソフトウェア CD」の場合は 4 へ

5 インストールが完了します。（再起動が必要な場合があります。）

参考　シリアル番号/CD-Key
●B's Recorder GOLD9 BASIC :
●B's CLiP7 :
●WinDVD :
●WinDVD 5 for OEM :

こんな時には…
インストールするソフトウェアによっては、シリアル番号入力画面が表示される場合があります。その場合、シリアル番号は自動的に入力されますので、そのまま次の画面に進んでください。

注意　B's Recorder GOLD + B's CLiPを使用する際のご注意

●省電力機能を無効（オフ）にしてください。無効（オフ）にしないで書き込みを行うと、書き込みに失敗する場合があります。
●マルチセッション・マルチボーダー（セッション単位でデータを追記することです。）記録したメディアの使用済み容量を知りたい場合は、「B's Recorder GOLD」の「メディア」メニューの「情報」を選択してください。エクスプローラの「ファイル」メニューの「プロパティ」を選択すると表示される "使用領域" では、OS の仕様により最後のセッションの容量しか表示されません。
●2 層 DVD+R メディアにマルチセッションで書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。
●2 層 DVD±R メディアに「B's CLiP」で書き込みを行った場合、他のドライブで読み込むことはできません。
●一度でも書き込みに失敗した DVD+R/-R/CD-R メディアは使用しないでください。正常に動作しない場合があります。また、書き込みに失敗した DVD+RW/-RW/-RAM/CD-RW メディアは「B's Recorder GOLD」を使用して、いったんデータを消去した後にご利用ください。
●いったん「B's Recorder GOLD」と本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず「B's Recorder GOLD」と本製品を使用してください。
また、いったん「B's CLiP」と本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず「B's CLiP」と本製品を使用してください。
●一度「B's CLiP」でフォーマットした DVD+RW/-RW/-RAM/CD-RW メディアを再フォーマットする場合は、「B's Recorder GOLD」や「B's Erase」でいったん標準消去してから、「B's CLiP」で再フォーマットしてください。
●「B's Recorder GOLD」にてコピー禁止機能付き DVD を作成する場合には、本紙表面［推奨メディア］欄にてご案内しておりますメーカー製の CPRM 対応 DVD-R/RW for VIDEO メディアをご利用ください。
●ハードディスクにいったんデータを書き込んでから、メディアへの書き込みを行う場合、書き込むファイルと同じサイズの空き容量がハードディスク上に必要です。
●B's Recorder GOLD のエラー回避機能のチェックを外さないでください。
「環境設定」→「ドライブ設定」→「高度なドライブ設定」で、"転送速度エラー回避機能" を ON にしてください。※エラー回避機能が常時 ON になっているドライブでは、「高度なドライブ設定」のボタンは表示されません。
●他の CD/DVD ドライブを読み込み元ドライブとして使用する場合の注意
「B's Recorder GOLD」が対応していない CD/DVD ドライブ※の場合は、読み込み元ドライブ（コピー元）としてご利用いただくことができません。その場合は本製品を読み込み元ドライブとしてご利用ください。※ ㈱ビー・エイチ・エー対応の有無をお問い合わせください。
●音楽データを書き込んだ CD-R/RW メディアを再生するには、再生する CD プレーヤーが CD-R/RW メディアに対応している必要があります。
●Windows 2000 でお使いの場合には、ドライブのデジタル CD 再生を無効にしてください。
●DVD±R/RW メディアに書き込む際、書き込み終了前に一度トレイが出し入れします。書き込み終了の画面が表示されるまではメディアを抜かないでください。手がはさまれる危険性があります。
●HDD バックアップ機能について（外付ドライブ製品のみ）
バックアップしたメディアを使用して HDD を元に戻すときは、本製品以外の MS-DOS で認識可能な DVD/CD ドライブが必要です。

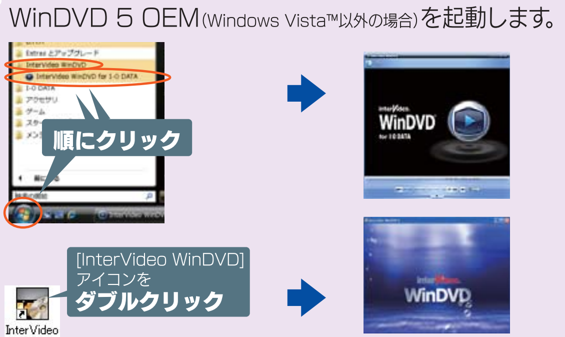
注意　DVD MovieWriter 5 SE for I-O DATA、WinDVD、WinDVD 5 OEMを使用する際のご注意

●本製品のリージョンコードは、出荷時状態で「2」に設定されています。リージョンコードを変更した場合は、動作の保証を致しかねます。
●CPRM技術で録画されたDVDメディアを再生・編集するには、サービスパックやCPRM Packをダウンロードし、インストールする必要があります。 ※ インターネット接続環境が必要です。
なお、ダウンロード回数には制限がありますので、ダウンロードしたプログラムは大切に保管してください。手順については、本製品の画面で見るマニュアルをご覧ください。
●Windows Vista™環境でCPRM技術で録画されたDVDメディアを再生する場合は、以下の動作環境を満たしている必要があります。
《グラフィックアクセラレータボード》
- PCI-Express接続
- COPPをサポートしていること
- 最新のドライバがインストールされていること
- HDCPに対応したDVIもしくはHDMIコネクターを搭載

《ディスプレイ》
- HDCPに対応したDVIもしくはHDMIコネクターを搭載

てっトリ早く DVDビデオを再生しよう

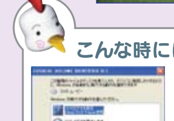
1 WinDVD（Windows Vista™の場合）または WinDVD 5 OEM（Windows Vista™以外の場合）を起動します。


▼Windows Vista™の場合
順にクリック
▼Windows Vista™以外の場合
[InterVideo WinDVD] アイコンを ダブルクリック
InterVideo WinDVD

2 再生するDVDビデオを挿入します。

挿入すれば、自動的にDVDビデオの再生がスタートするよ。

こんな時には…



■Windows XPで左のようなウインドウが表示される
→キャンセルをクリックします。

CPRM技術で録画されたDVDを初めて再生する場合は…
CPRM Packをダウンロードする必要があります。
ダウンロードおよびインストール手順については、本製品の画面で見るマニュアル内【DVDビデオを観る】をご覧ください。（添付のDVD ProツールズコレクションのCDメニューより[画面で見るマニュアルを読む]をクリックし、本DVDドライブの製品型番をクリックし起動します。）

困った時には…
添付CD-ROMのメニューより[Q&A]をご参照ください

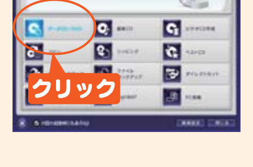
それでもわからなかったら…
インタービデオジャパン テクニカルサポート
045-226-3899
受付時間… 09:30～12:00/13:30～17:00
月～金曜日（夏季・年末特定休業日、祝祭日を除く）

てっトリ早く データDVDをつくってみよう

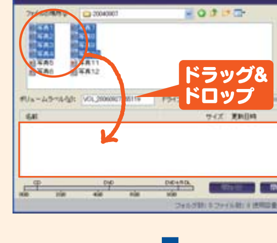
1 B's Recorder GOLD9 BASICを起動します。

[B's Recorder GOLD9] アイコンを ダブルクリック
B's Recorder GOLD9

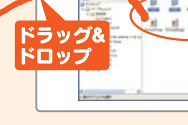
2 表示されるメニューから[データCD/DVD]を選択します。



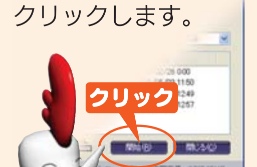
3 上段で保存したいデータを選択して下段にドラッグ&ドロップします。



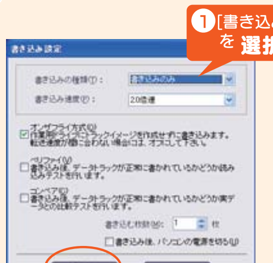
てっトリ早く（ヒント!）
デスクトップ上やエクスプローラから直接ドラッグ&ドロップすることもできます。



4 メディアを本製品に挿入して[開始]をクリックします。



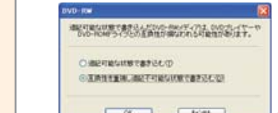
5 書き込みを開始します



困った時には…
添付CD-ROMのメニューより[Q&A]をご参照ください

それでもわからなかったら…
ビー・エイチ・エー テクニカルサポートセンター 06-4861-8234
受付時間…10:00～12:00/13:00～17:00
月～金曜日（祝日などビー・エイチ・エー社の休業日を除く）

こんな時には…
■DVD+R/-R/-RWメディアを挿入したら下記のようなメッセージが出た…



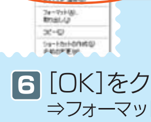
←DVD-RWの場合
●後でデータを追加して書き込む場合
[追記可能な状態で書き込む]にチェックを入れて[OK]をクリックします。
●書き込み後にデータを追加する予定がない場合
[互換性を重視し追記不可能な状態で書き込む]にチェックを入れて[OK]をクリックします。

てっトリ早く DVD-RAMに書き込もう

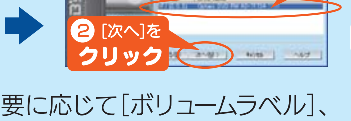
ヒント!
※ 2～5の手順は初めてDVD-RAMメディアを使う際のみ必要です。
※DVD±RW、CD-RWメディアも同様の手順でデータを書き込むことができます。

1 DVD-RAMメディアを本製品に挿入します。

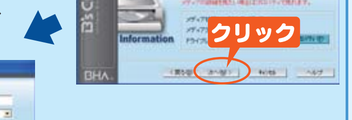
2 マイコンピュータを開き、本製品のアイコンを右クリック→[B' s CLiPフォーマット]をクリックします。



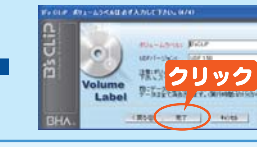
3 本製品を選択し、[次へ]をクリックします。



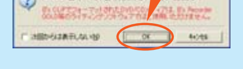
4 [次へ]をクリックします。



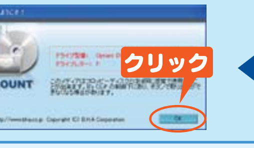
5 必要に応じて[ボリュームラベル]、[UDFバージョン]を設定し、[完了]をクリックします。



6 [OK]をクリックします。
⇒フォーマットが始まります。



7 フォーマットが完了すると以下の画面が表示されますので、[OK]をクリックします。これでDVD-RAMへドラッグ&ドロップするだけでデータを書き込むことができます。



てっトリ早く DVDビデオをつくろう

1 動画ファイルを準備します。

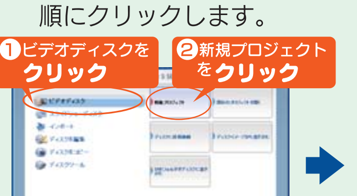
●TVキャプチャ
●VHSビデオテープ
●DVカメラetc.

※動画ファイルの作成方法やDVカメラとの接続方法はお使いのキャプチャ機器・DVカメラの取扱説明書をご参照ください。

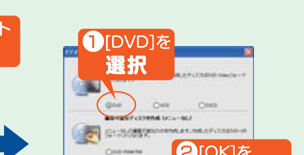
2 [DVD MovieWriter 5 SE for I-O DATA]を起動します。

[DVD MovieWriter 5 SE for I-O DATA] アイコンを ダブルクリック
DVD MovieWriter 5 SE for I-O DATA

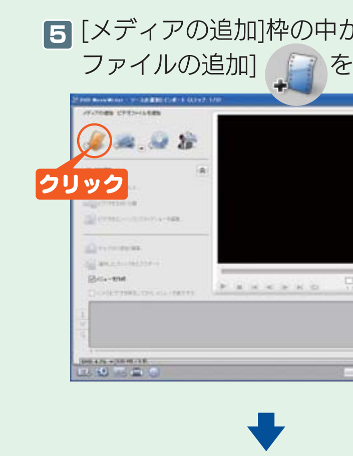
3 [ビデオディスク]→[新規プロジェクト]の順にクリックします。



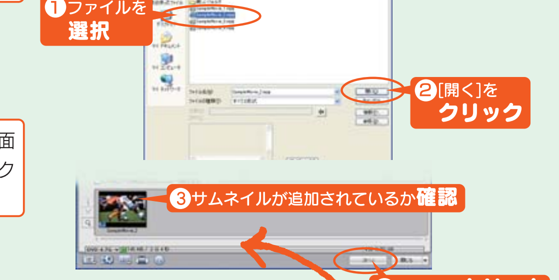
4 [DVD]を選択し、[OK]をクリックします。



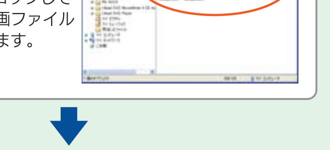
5 [メディアの追加]枠の中から[ビデオファイルの追加] をクリックします。



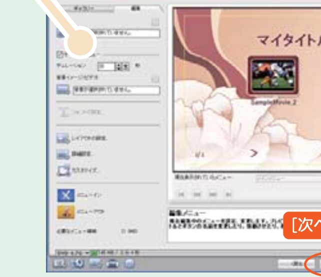
6 ビデオに書き込みたいファイルを選択します。



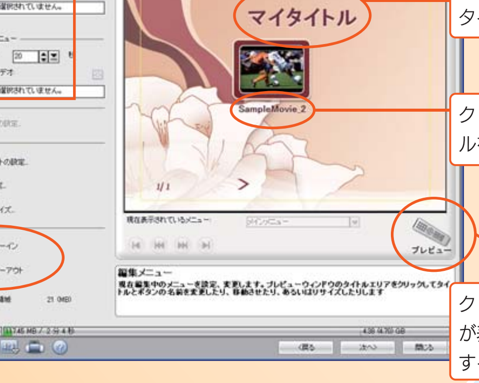
てっトリ早く（ヒント!）
デスクトップ上やエクスプローラから直接ドラッグ&ドロップしてサムネイルリストに動画ファイルを追加することもできます。



7 この場面では必要に応じてメニュー画面の設定を変更することができます。



メニュー画面の編集もかんたん!



あらかじめ用意されているテンプレートやオリジナルのデザインを選びお好みのメニュー画面を作成できます。

BGMやレイアウトなど、メニュー画面の編集をおこなうことができます。

メニューからムービーへの画面切替効果（トランジション）を設定することができます。

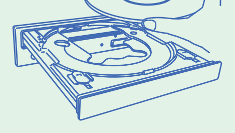
クリックでメニュー画面のタイトルを変更できます。

クリックでシーンのタイトルを変更できます。

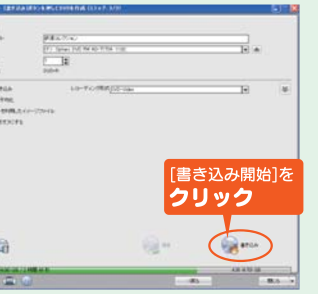
クリックでプレビュー画面が表示され、動作チェックすることができます。

●詳しい使い方は[DVD MovieWriter 5 SE for I-O DATA]のヘルプをご参照ください。

8 本製品にメディアを入れます。



9 [書き込み開始]をクリックします。



困った時には…
添付CD-ROMのメニューより[Q&A]をご参照ください

それでもわからなかったら…
ユーリードユーザーサポート係
045-226-1966
受付時間…10:00～12:00/13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

画面で見るマニュアルを活用して さらに DVD を使いこなそう

本書では、各ソフトの基本的な使い方のみを記述しております。さらに高度な使用方法については、各ソフトの画面で見るマニュアルをご覧ください。
※各ソフトに付属しているPDF形式の文書ファイルを読む際には、PDF文書閲覧ソフトが必要です。

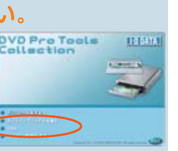
DVD MovieWriter 5 SE for I-O DATA
の画面で見るマニュアルを活用する
[スタート]メニューの[Ulead DVD MovieWriter 5 SE for I-O DATA]に登録されます。

B's Recorder GOLD 、B's CLiP 、labelFOLiO
のオンラインマニュアルを活用する
[スタート]メニューの[B.H.A]または各ソフトウェアのヘルプに登録されます。

DVDドライブ本体、EasySaver LE 、QuickDrive LE
の画面で見るマニュアルを活用する
[スタート]メニューの[I-O DATA]に登録されます。

WinDVD、WinDVD 5 OEM
の画面で見るマニュアルを活用する
[WinDVD]または[WinDVD 5 OEM]を起動し、ヘルプを起動します。

参考　添付のCD-ROMに収録されている、画面で見るマニュアルもご覧ください。
添付のCD-ROMに収録されている、画面で見るマニュアルにも情報があります。
❶「DVD Pro ツールズコレクション」CD-ROMを本製品にセットします。
自動でメニューが表示されます。メニューが表示されない場合は、CD-ROMの[Menu]（[Menu.exe]）を起動してください。
❷[画面で見るマニュアルを読む]ボタンをクリックし、起動します。



困ったときには

DVD MovieWriter 5 SE for I-O DATA で困ったら…

❶ ソフトウェアの画面で見るマニュアルを確認する。
❷ ホームページでサポート情報を見る。
http://www.ulead.co.jp/support/
それでも解決しなかったら
❸ サポートに問い合わせる。

インタービデオジャパン株式会社
ユーリードユーザーサポート係
TEL 045-226-1966
受付時間…10:00～12:00/13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）
※お問い合わせの際はユーザー登録が必要です。
※シリアルNo.はインストール時の表示か、各ソフトウェアを起動し【バージョン情報】等各ソフトウェアについてのオプションを参照してください。
http://www.ulead.co.jp/
●E-Mail：上記Webサイトのサポートページよりお問い合わせください。

InterVideo WinDVD や InterVideo WinDVD 5 で困ったら…

❶ ソフトウェアの画面で見るマニュアルを確認する。
❷ ホームページでサポート情報を見る。
http://www.intervideo.co.jp/support/
それでも解決しなかったら
❸ サポートに問い合わせる。

インタービデオジャパン株式会社
テクニカルサポート
TEL 045-226-3899
FAX 045-226-3895
受付時間… 09:30～12:00/13:30～17:00
月～金曜日（夏季・年末特定休業日、祝祭日を除く）
http://www.intervideo.co.jp/support/
●E-Mail：techsupp@intervideo.co.jp

B's Recorder GOLD9 BASIC や B's CLiP 、labelFOLiO で困ったら…

❶ ソフトウェアの画面で見るマニュアルを確認する。
❷ ホームページでサポート情報を見る。
http://help.bha.co.jp/
それでも解決しなかったら
❸ サポートに問い合わせる。

株式会社ビー・エイチ・エー
テクニカルサポートセンター
TEL 06-4861-8234
受付時間…10:00～12:00/13:00～17:00
月～金曜日（祝日などビー・エイチ・エー社の休業日を除く）
※お問い合わせの際はビー・エイチ・エー社へのユーザー登録が必要です。
http://www.bha.co.jp/
●E-Mail：上記Webサイトのサポートページよりお問い合わせください。

修理について

修理を依頼する前に
以下の事項をご確認ください。
●お客様が貼られたシールなどについて
修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。
●修理金額について
■保証期間中は、無料にて修理いたします。ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。　※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
■保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
■お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにてご連絡させていただきます。）

修理依頼手順
1.メモに控え、お手元に置いてください。
お送り頂く製品の製品名、シリアル番号（製品に貼付されたシールに記載されています。）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。
2.これらを用意してください。
■必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
■下の内容を書いたもの
・返送先[住所/氏名/（あれば）FAX番号]　・日中にご連絡できるお電話番号
・ご使用環境（機器構成、OSなど）　・故障状況（どうなったか）
3.修理品を梱包してください。
■上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
■輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。
4.修理をご依頼ください
■修理は、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
■送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先
〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

■修理品到着後、通常約1週間ほどで弊社より返送できます。
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

DVDドライブ本体 や EasySaver LE 、QuickDrive LE で困ったら…

❶ 添付CD「DVD Proツールズコレクション」に収録されている、画面で見るマニュアルのQ&Aを確認する。
❷ ホームページでサポート情報を見る。
●製品Q&A、Newsなど
http://www.iodata.jp/support/
●最新サポートソフト
http://www.iodata.jp/lib/
それでも解決しなかったら
❸ サポートに問い合わせる。

株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター
TEL[東京] 03-3254-1095
TEL[金沢] 076-260-3688
FAX[東京] 03-3254-9055
FAX[金沢] 076-260-3360
[受付時間] 9:00～17:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

使用上のご注意

著作権について
この製品またはソフトウェアは、あなたが著作権保有者であるか、著作権保有者から複製の許諾を得ている素材を制作する手段としてのものです。もしあなた自身が著作権を所有していない場合か、著作権保有者から複製許諾を得ていない場合は、著作権法の侵害となり、損害賠償を含む補償義務を負うことがあります。御自身の権利について不明確な場合は、法律の専門家にご相談ください。

本製品のライティングソフトウェアについて
■本製品以外での使用は保証できません。また、本製品で他のライティングソフトウェアを使用して万一障害が発生した場合は弊社ではサポートいたしかねます。ご使用のライティングソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
■書き込みに失敗したメディアの保証はいたしておりません。
■DVD±RW、DVD-RAM、CD-RWメディアの消去（初期化）は書き込みを行ったライティングソフトウェアを使用してください。
■「B' s CLiP」はCPRMに対応しておりません。

地域コード（リージョンコード）について
本製品は、日本の地域コードである「2」に設定されています。ソフトウェアDVDプレーヤーなどで他の地域コードに設定した場合、弊社では保証いたしかねます。

商標について
●I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
●Microsoft®、Windows®、Windows Vista™は、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
●Labelflash™はヤマハ株式会社の商標です。
●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/
古紙配合率100%再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOYINK 大豆インキを使用しています

2007.03.08 Copyright © 2007 I-O DATA DEVICE, INC. All Rights Reserved.